

令和2年4月14日

新入生の皆様へ

医学部長 竹石恭知

医学部教務委員長 関根英治

第1学年・学年コーディネーター 藤野美都子

入学おめでとうございます。

皆さんを福島県立医科大学医学部にお迎えできたことを嬉しく思います。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、入学式が中止になり、大学で実施する予定であった新入生オリエンテーションも中止せざるをえなくなりました。皆様は、不安を感じていらっしゃると思います。

大学といたしましては、皆さんが不安なく学生生活を送ることができるよう最大限の努力をいたします。また、皆さんの学習機会が奪われることがないよう、皆さんの協力をいただきながら、授業を実施いたします。

皆さんには、下記に記載した事項を理解し、これからの学生生活を送っていただくようお願いいたします。

#### 1. 新入生オリエンテーション

4月20日(月)の9時から、電子会議システム「ZOOM」を利用した新入生オリエンテーションを実施します。皆さんの新しい学生生活に不可欠な情報を提供します。

ZOOMの利用方法につきましては、別途、教育研修支援課から新入学生の皆様に連絡させていただきます。

#### 2. 授業

授業は4月20日(月)4限(13時から)から、自宅等にてZOOMを利用した遠隔授業で受講していただくこととなります。

なお、前期の講義科目は遠隔授業で実施する予定です。実習については、少人数で実施できる工夫をした上で行う予定です。

#### 3. 健康ダイアリー

健康ダイアリーは、当面継続して運用しますので、毎日11時までの記入をお願いします。

#### 4. 大学からの連絡

県内外のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)患者数の動向等、予想を超える事態の進展により、様々な事柄が変更になる可能性があります。必ず、大学からの連絡は、大学HPや大学からのメールを毎日確認するようにしてください。

## 5. 行動指針

行動指針は、三密（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話する密接場面）を避けることです。これに関しては、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月1日）が参考になります。よく読んで現状の理解と対策に努めて下さい。

[https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000617992.pdf?fbclid=IwAR3bIaTF0\\_i9msyFPEkTf4aUmIoKrZyaHqo-gflsKLn1Ea0nPbz96okYS08](https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000617992.pdf?fbclid=IwAR3bIaTF0_i9msyFPEkTf4aUmIoKrZyaHqo-gflsKLn1Ea0nPbz96okYS08)

この提言によれば、福島は「感染拡大警戒地域」の一步手前の状態と思われます。すなわち「10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避けること、家族以外の多人数での会食などは行わないこと」を行動指針としています。

また、本学では学生の皆さんに4月7日付けで「アルバイトに関する要請について」により、三密につながるアルバイトの自粛を要請しています。感染防止の観点から、慎重に行動してください。

[https://www.fmu.ac.jp/univ/covid\\_info/dete/20200407\\_arubaito.pdf](https://www.fmu.ac.jp/univ/covid_info/dete/20200407_arubaito.pdf)

ここに、本学との協定校、NYのマウントサイナイ医科大学の柳澤先生のコメントを紹介します。毎年本学に来学されているので、ご存知の皆さんもいると思います。

「ニューヨークも1カ月前までは普通だった。新型コロナの感染力は強く、事態は急激に変わる。東京など大都市にはそうなる要素がある。今から早く予防策をとらなければならない。まず、自粛を厳しくして拡散を止めるのが大事。」

皆さんの理性ある行動を望みます。

## 6. 連絡先・問合せ先

体調が万全ではない等、何かあったときは、些細なことでも構いませんので、教育研修支援課（024-547-1095）まで連絡してください。緊急でない場合は、電子メールでお願いします（[gakuseik@fmu.ac.jp](mailto:gakuseik@fmu.ac.jp)）。

最後に、健康ダイアリーを開始した際の説明を、再度記載します。「これらはいずれも、感染拡大のリスクを最小限に抑えるために必要な行動です。結果的に感染することが悪いのではなく、防げる可能性があるのにその努力を怠ること、あるいは早期発見ができる可能性を自ら放棄することが問題です。医療人を志す者としてふさわしい行動をこころがけ、日々の健康管理をお願いいたします。」

今回の経験は、皆さんの今後の医療人としての人生において、必ずや貴重な体験になるはずです。また、皆さんは、歴史に長く記憶されるであろう事態に当事者として関わっているという事実も心に刻んでいただければと思います。皆さんが各自で健康管理をしっかり行い、大学での授業が再開した時に、元気な皆さんにお目にかかれることを楽しみにしています。